

*購読の中止または住所・氏名の変更時は必ずご連絡ください。(ご連絡がない場合は「継続」とさせていただきます。(書籍部))

【全日本パンフェスティバル第三回日本全国ご当地パン祭り開催】

全日本パン協同組合連合会は、「全日本パンフェスティバル第三回日本全国ご当地パン祭り」を開催する。

当日は会場で「親子パン作り体験コーナー」など多数のイベントが同時開催される。

【日程】11月24日(土)

【開催時間】11時～17時30分

【開催場所】東京国際フォーラム地上広場

【詳細】<http://www.oishii-pan.net/event/festival/>

【世田谷パン祭り】

Mishuku R.420(三宿四二〇商店会)、世田谷パン祭り実行委員会は「世田谷パン祭り」を開催する。

世田谷区の活性化、パン業界の発展に寄与することを目的に、当日は、日本各地のパン屋が出店するフードブースをはじめ、ワークショップやトークショーなどが行われる。

【日時】11月23日(金・祝)

【開催時間】10時～17時

【開催場所】世田谷公園、IID世田谷ものづくり学校、三宿四二〇商店会

【主催】Mishuku R.420(三宿四二〇商店会)、世田谷パン祭り実行委員会

【共催】世田谷区

【後援】世田谷区商店街連合会

【協賛】日清製粉

【企画・運営】Creative Neighborhood-商店街再生プロジェクトー、日本パンコーディネーター協会、こんがりパンだパンクラブ、自由大学、鯨本編集室、media surf communications、LLPスケッチ

【協力】池尻地区町会連合会、日赤池尻分団、IID世田谷ものづくり学校、昭和女子大学(鶴田・粕谷研究室)、食糧学院、ファーマーズマーケットアソシエーション、東京キャンプ、池尻ロマンス座
(2012年10月15日現在)



【本の紹介】

『幸福な田舎のつくりかた』

著者/金丸弘美 学芸出版社/1800円+税

本書は食環境ジャーナリスト、食総合ジャーナリストである著者が、さまざまな形でまちおこしを成功させた地方を紹介している。

著者は地元産物の売り上げをのばしている場所には、「オリジナル商品に主眼をおき素材や作り手や原料が明確なものを扱う」など12点の共通項があるとしている。例として有川浩の小説「県庁おもてなし課」としても取り上げられた、高知県の取り組みなどが登場する。

紹介されている事例は今までの既成概念から外れたものも多い。そこから、人を呼ぶために必要な新しい観点が多数見えてくる。



読者からのお便り

ブーランジェリーセキグチの関口和弘さんからお便りをいただいたので紹介します。

当店は「日常食としてのパン」をコンセプトとしており、これ以上小麦値上がりや消費税増税などによりパンの価格が上がって気軽に消費者が買えなくなることを危惧しての主張です。

「いかにして価値を認めてもらうか」ということはビジネスにおいて必要なことですが、パンの在り方からは外れてしまうと考えています。日本人にとってパンはまだ嗜好品の域を出ていません。

税金を払うのは国民の義務ですが、必要のないものや透明性のないものについては国民全体で(パン業界として)厳しく見ることがよりよい社会をつくる為でもあると思います。

長々と失礼致しました。今後とも『B&C』を拝読させていただきます。